

# 日興USグローイング・ベンチャーファンド

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第4期(決算日2018年9月10日)

作成対象期間(2017年9月12日～2018年9月10日)

### 第4期末(2018年9月10日)

基準価額	15,259円
純資産総額	11,238百万円
第4期	
騰落率	24.4%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興USグローイング・ベンチャーファンド」は、2018年9月10日に第4期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

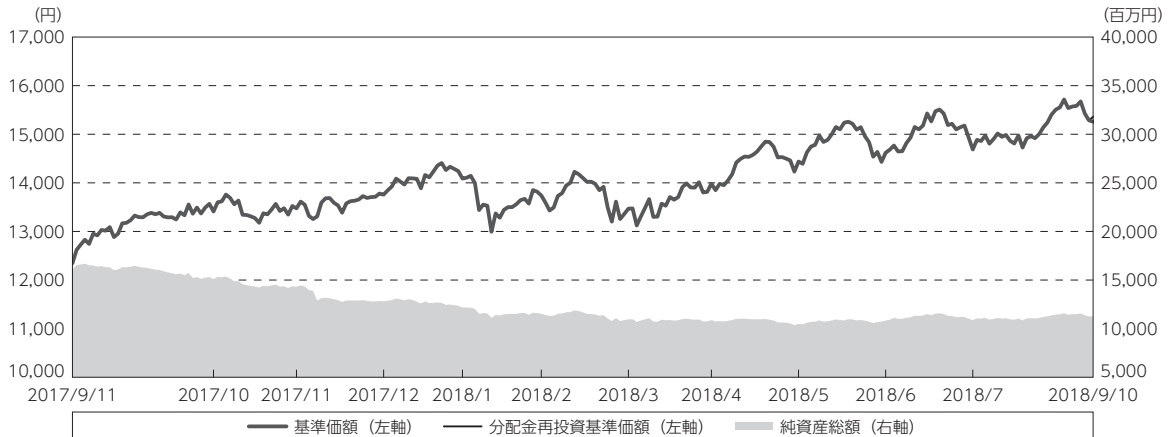
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2017年9月12日～2018年9月10日)



期 首：12,346円

期 末：15,259円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率：24.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年9月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・堅調な米国経済を背景に、米国株式が好調に推移したこと。
- ・好調な業績が評価された情報技術セクターの一部の銘柄の株価が堅調に推移したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・公益セクターなどの銘柄の株価が振るわなかったこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年9月12日～2018年9月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	260	1.853	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(128)	(0.915)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(121)	(0.862)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 11)	(0.075)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.032	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 5)	(0.032)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 0)	(0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	6	0.040	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 2)	(0.016)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	( 1)	(0.004)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	271	1.927	
期中の平均基準価額は、14,031円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

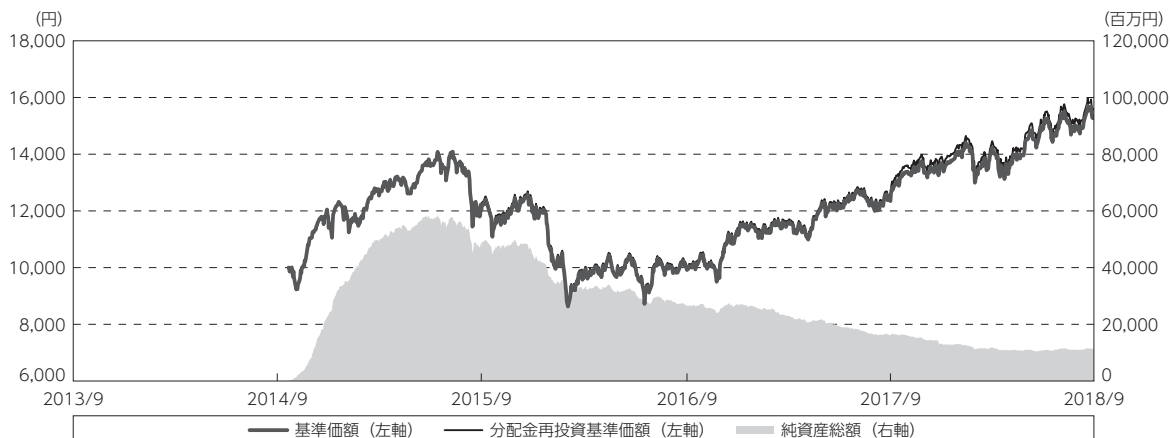
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年9月10日～2018年9月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2014年10月1日です。

	2014年10月1日 設定日	2015年9月10日 決算日	2016年9月12日 決算日	2017年9月11日 決算日	2018年9月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,016	9,915	12,346	15,259
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	0	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	21.2	△ 17.5	25.5	24.4
純資産総額 (百万円)	150	47,979	26,434	16,121	11,238

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2015年9月10日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2017年9月12日～2018年9月10日)

## (株式市況)

米国株式市場は、好調なマクロ経済や企業業績を背景に、堅調な展開で始まりました。2017年末にかけては、法人税減税などの米国税制改革の実現に対する期待が更に相場を後押しし、主要な株価指数が過去最高値を更新するなど好調に推移しました。2018年2月にかけて米国の利上げペースが速まるとの思惑が強まり、長期金利が急上昇したことで株式相場は大きく調整しました。その後は米中貿易摩擦の懸念や南欧、北朝鮮などの地政学的リスクの高まりを背景に、株式市場は方向感の定まらない状況が継続したものの、米国の堅調なマクロ経済指標や企業業績を背景に底堅く推移しました。期間末にかけては、米中の貿易摩擦懸念の再燃やトルコなどの地政学的リスクの高まりから株式相場は調整する局面があったものの、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉の他、貿易摩擦への過度な懸念が後退したことなどから米国株式市場は好調に推移しました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2017年9月12日～2018年9月10日)

## (当ファンド)

当ファンドは、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (USグローイング・ベンチャーマザーファンド)

当ファンドでは、ボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれる企業に注目して運用を行ないました。

期間の初めから情報技術セクターなどの銘柄を中心に積極的な銘柄入替などを行ないました。また一般消費財・サービスセクターなどにも積極姿勢で臨みました。

期間中には、好業績が評価されて株価が上昇した企業などに消極姿勢で臨んだ一方で、高い成長が見込まれ株価の割安感が強まった企業などに積極姿勢で臨みました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2017年9月12日～2018年9月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**分配金**

(2017年9月12日～2018年9月10日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期	
	2017年9月12日～ 2018年9月10日	
当期分配金	100	
(対基準価額比率)	0.651%	
当期の収益	100	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	5,258	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

**(USグローイング・ベンチャーマザーファンド)**

米国経済のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は、引き続き好調に推移するとの見方に変更はありません。中期的に財政赤字の拡大は懸念材料であるものの、減税政策や財政政策の効果が今後寄与してくることで、米国経済を更に後押しすると考えられます。足元の株式市場では、米国の中間選挙を控え、米中貿易戦争の先行きへの不透明感から値動きの荒い状況が続いています。ただ、このように不透明要因が多い外部環境のなかにあっても、企業業績は総じて堅調に推移していると考えています。今後も、米中貿易戦争の先行きに対する懸念や地政学的リスクなど、様々な外部要因によって株式市場の変動が大きくなる局面が予想されますが、この様な局面では個別銘柄選択がより一層重要になります。外部環境によって大きく変化する市場センチメントに左右されることなく、各企業のファンダメンタルズとバリュエーション(株価評価)を重視した銘柄選択を継続する方針です。引き続きボトムアップによる銘柄調査により、イノベーションによって飛躍的な成長が見込まれると考える企業に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2017年9月12日から2018年9月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

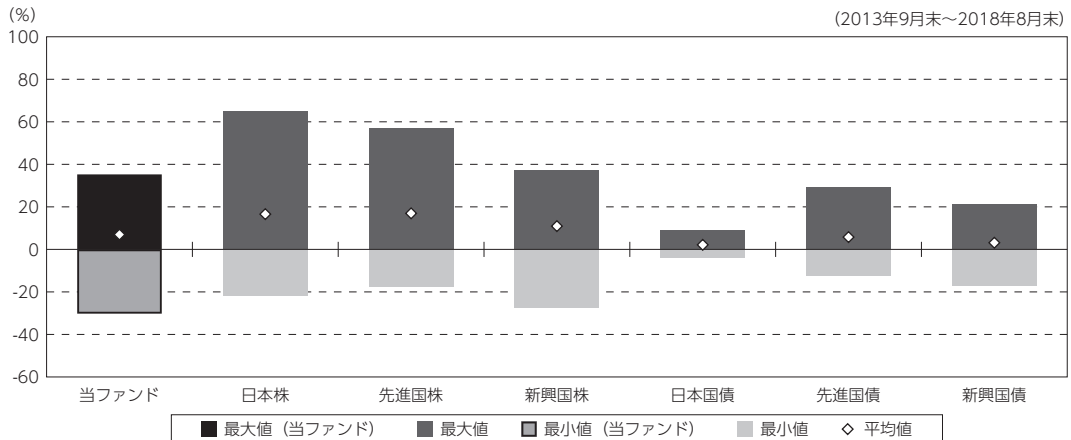
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年6月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年10月1日から2024年9月10日までです。	
運用方針	主として、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興USグローイング・ベンチャーファンド	「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	USグローイング・ベンチャーマザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.3	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
最小値	△ 30.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	7.0	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年9月から2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2015年10月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。



## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年9月10日現在)

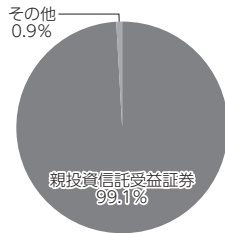
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
USグローイング・ベンチャーマザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

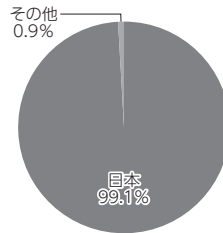
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

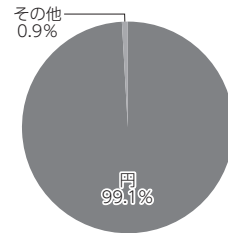
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第4期末
	2018年9月10日
純資産総額	11,238,197,085円
受益権総口数	7,365,036,358口
1万口当たり基準価額	15,259円

(注) 期中における追加設定元本額は1,413,956,934円、同解約元本額は7,107,132,689円です。

## 組入上位ファンドの概要

## USグローイング・ベンチャーマザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2017年9月12日～2018年9月10日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月12日～2018年9月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	5 (5)	0.032 (0.032)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (2) (1)	0.019 (0.015) (0.004)
合計	8	0.053

期中の平均基準価額は、15,285円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年9月10日現在)

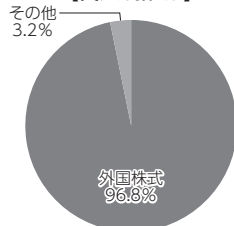
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	PAYPAL HOLDINGS INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	7.0
2	HEWLETT PACKARD ENTERPRISES	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	4.7
3	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	4.7
4	CITIZENS FINANCIAL GROUP	銀行	アメリカドル	アメリカ	4.0
5	FORTIVE CORP	資本財	アメリカドル	アメリカ	3.8
6	VALVOLINE INC	素材	アメリカドル	アメリカ	3.3
7	CADENCE BANCORP	銀行	アメリカドル	アメリカ	3.2
8	WORKDAY INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.2
9	MALIBU BOATS INC - A	耐久消費財・アパレル	アメリカドル	アメリカ	3.2
10	PALO ALTO NETWORKS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	3.1
組入銘柄数			46銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

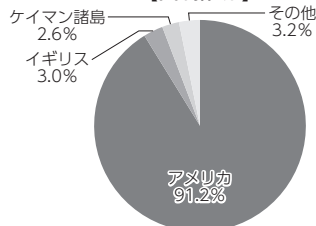
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

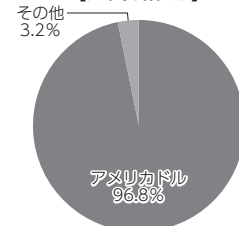
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。